

【平成26年度 適性検査Ⅱ 解答例】(向陽中学校)

研究1 課題1 (例)
 午前10時から午後2時25分まで 4時間25分(265分)
 開会式、閉会式、休けいと昼休けいで
 $5 + 5 + 15 + 60 = 85$ 85分
 発表の総時間 $265 - 85 = 180$ 180分
 各学年の発表時間の平均は、3・4年生の時間となるので
 3・4年生 $180 \div 6 = 30$ 30分
 1・2年生 $30 - 5 = 25$ 25分
 5・6年生 $30 + 5 = 35$ 35分
 4年生までは、
 $5 + 30 + 25 + 15 + 35 + 25 + 60 = 195$ (3時間15分)
 午前10時から3時間15分後は、午後1時15分。
 午後(1)時(15)分

課題2 (例)
 仮に、5年生と6年生の人数を半数の21人とすると、並べるいすは315きやく。6年生の人数を1人ずつ増やして考えると、いすの数は次のようになる。

5年生の人数(人)	21	20	19
6年生の人数(人)	21	22	23
5年生が並べるいすの数(きやく)	126	120	114
6年生が並べるいすの数(きやく)	189	198	207
いすの合計(きやく)	315	318	321

5年生(19)人、6年生(23)人

研究2 課題1

黄色の面 S極
 きまり
 (例) 青色の面が、いつも北を向くように動く。

課題2 (例)

実験1を終えて
 発光ダイオード②が光ったので、イとウには電気を通すものがつながっている。

実験2を終えて
 イは電気を通すものなのに発光ダイオード①が光らないので、発光ダイオード①につなぐ電池の向きは逆である。

実験3を終えて
 電流の向きを実験2と逆にしたのに発光ダイオード①が光らないので、アには電気を通さないものがつながっている。

ア	イ	ウ
木の棒	アルミニウムの棒	アルミニウムの棒
ガラスの棒	10円玉	10円玉
	スプーン	スプーン

研究 3

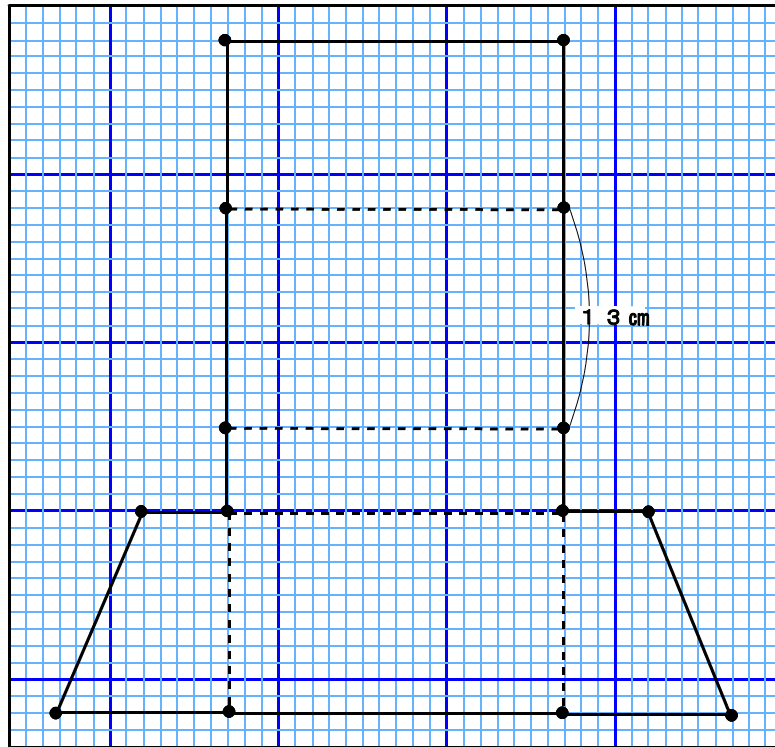
課題 1

(例)

水の中にしずんでいるレンガブロックの体積と水の体積の合計
 $30 \times 60 \times (10 - 1) = 16200$
 水の中にしずんでいるレンガブロックの体積
 $20 \times 12 \times 9 = 2160$
 水の体積
 $16200 - 2160 = 14040$
 水そうの底面積
 $30 \times 60 = 1800$
 レンガブロックを入れる前の水の深さ $14040 \div 1800 = 7.8$
 水の深さ (7.8) cm

課題 2

(例)



研究 4

課題 1

(例)

大勢の人たちが、それぞれの得意分野で参加し、その人たちの夢や希望、期待を込めて作られたものであるから。

課題 2

(例)

中小工場は、全体の七割の人が働いており、大工場と同じぐらいの生産額である。このことから一人あたりの生産額は少ないといえる。しかし、日本の工場の大部分をしめる中小工場は、さまざまな工業の生産を行い、軽工業では高い生産額を上げるなど、日本の工業にとって大切な役割を果たしている。